

第100回全国図書館大会 第21分科会 ちいさな図書館でもできる健康情報サービス  
平成26年11月1日

## あなたの町にしかできない 医療情報サービスを

～多治見市図書館の小さな取り組み～

多治見市図書館 中島ゆかり

## 多治見市図書館について

昭和21年5月  
有志らの呼びかけで市民より寄贈を受けた1400冊を元に市立高等実践女学校校舎の一室に、**多治見市図書館**誕生  
一時休館、移転を経て昭和33年8月独立館として再び開館  
昭和52年4月  
旧市民病院舎を改築し現在の多治見市豊岡町(多治見駅より徒歩5分)に移転  
平成9年4月  
複合施設まなびパークたじみ内の一施設として同地にリニューアルオープン  
平成18年4月  
指定管理者制度導入、財団法人(現・公益財団法人)多治見市文化振興事業団が受託  
平成25年4月  
**多治見市図書館 医療情報コーナー・闘病記文庫設置**



多治見市図書館本館・子ども情報センター・笠原分館の3館  
蔵書数470143(うち本館404816)冊、闘病記文庫蔵書はそのうち800冊  
(『多治見市史』通史編下巻、「多治見市図書館要覧平成25年度」より)

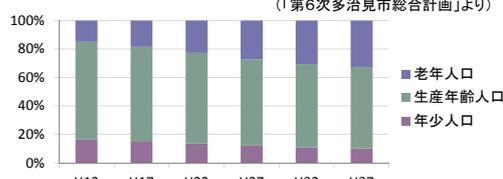
## 多治見市ってどんなところ？

- 人口 **114,298人** (平成26年10月1日現在、岐阜県内4位)
- 岐阜県の **いちばん南** (面積94.12㎡、岐阜県内20位)
- 名古屋市まで **電車で30分のベッドタウン**
- 主要産業は **美濃焼**
- 夏になると全国ニュースで話題になる **猛暑の町**

詳しくは、多治見市公式HP  
**3分でわかる多治見市** をご覧ください  
<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/gaiyo/miryoku.html>

## 多治見市の人口構成の推移(推計)

平成17年までは、旧笠原町を合算した数値  
年少人口は、14歳以下、生産年齢人口は、15～64歳、高齢人口は、65歳以上  
平成27年以降は、平成17年国勢調査をもとにした予測値  
(『第6次多治見市総合計画』より)



全国的な問題である「**少子高齢化**」が、多治見市でも進む予測

## 人が元気！まちが元気！ 多治見



多治見市では現在「**第6次多治見市総合計画**」に基づく、次世代の少子高齢化に備えた政策を実施中

### 健康に関する政策

にも重点を置いている

## 多治見市の健康に関する基本政策

「第6次多治見市総合計画 2008-2015」  
(〔保健・医療・福祉〕の項目より抜粋)

生活習慣病予防や介護予防に重点をおき、健康増進のための体制づくりを推進

地域で安心して子どもを産み育てられる環境を整備

発達障害等を早期に療育を行うことで、自立のための基礎を身に付けることを支援

**地域の医療資源を有効活用し、医療体制の構築に(努める)**

相談支援の充実や、障害者の就労支援・生活の場の確保等によって、**たれもが地域で安心して暮らせる(まちづくり)**

## 多治見市の医療

市内の医療施設(平成25年度版『統計たじみ』より)  
 公立病院 2  
 私立病院 2  
 一般診療所 80

市内に2つある公立総合病院のうち  
**ひとつが 地域医療支援病院**

県立多治見病院

地域がん診療拠点病院 地域周産期母子医療センター 災害拠点病院

病院図書室・患者図書室  
 あり  
 司書1名



## 連携のきっかけ

平成22年12月 研修会での出会い

「公共図書館における健康・医療情報サービス」  
岐阜県公共図書館協議会・主催 (社)日本図書館協会、NPO法人日本医学図書館協会・協力

**多治見市図書館司書2名と  
 県立多治見病院図書室司書1名**が  
 この研修会に同席していたことから、すべてが始まった

**当初は、互いの施設にボランティアに赴いたり、小さな疑問の  
 相談相手として、のんびりしたつきあいだった**

## 闘病記文庫が出来るまで

平成24年NPO法人「医療の質に関する研究会」の  
**患者図書室プロジェクトへ、県立多治見病院が  
 応募、県内初の寄付対象に選ばれる**

この機会に、もっと連携を深めよう！

公共図書館と患者図書室の**互いの存在価値を  
 活かし、どちらにもプラスになる連携とは何か**

## 闘病記文庫に想いを託す



## 患者図書室にできること⇔公共図書館にできること

病院にある患者図書室は、治療中の患者や家族のためにあるもの

治療中の患者や家族を支える医学的エビデンスに基づく資料提供  
 ★現在治療中の患者に向けて、闘病記はなかなか置けない

⇕

公共図書館は地域住民のためにあるもの(患者、家族、周囲の人々を含む)

病気になってから始まる生活への参考になる資料(看護・介護・福祉・保険・年金など)提供  
 病気に対する相互理解を深め、心の拠り所になる資料提供  
 闘病記がその役割を果たす

## 闘病記がもたらすもの

**病気に対する知識の助けとなる**  
 →患者や周囲の人たちだけでなく、一般の人たちが患者や病気に対する理解を深めるための助けとなる

**同じ病を患う人の体験談**  
 →日常の不便さの解消、共感力による心のケア、治療法の選択に迷ったときの一例として、両方向で参考になる

**患者の気持ちを理解するため**  
 →医療従事者、家族、周囲の人たちに向けて

**グリーフケアの役割**  
 →心を癒す役割(しかし、そのタイミングは誰にもわからない)

## その反面

誰かを傷つける可能性もある

13

## 闘病記文庫ができるまで(1)

- ① 棚を新設するための企画の提案←熱意がどれだけ伝えられるか
- ② 場所←4類の間にあった閲覧スペースを移動
- ③ 予算←最小限に抑える(棚だけ予算確保)
- ④ 資料←既存の所蔵資料を活用
- ⑤ 準備期間←患者図書室の開室に合わせる  
(平成24年12月末～平成25年4月18日の約4か月間)
- ⑥ 労働力←医療棚担当者1名

14

## 闘病記文庫ができるまで(2)



15

## 闘病記を分類する(1)

- ・実際に本を読み、疾病名を決める
- ・タイトルだけでは、疾病名は分からない場合が多い
- ・請求記号ラベルを活用する(目録も同様に)
- ・フラッグ(棚見出し)をつけて棚で分ける

とにかく利用者が探しやすい方法をとことん考える

16

## 闘病記を分類する(2)



17

## 闘病記文庫の新刊案内



18

## 現在までの「闘病記文庫」統計結果

**集計期間** 2013/4/19(闘病記文庫設置日)～2014/9/30 (約1年半)  
**対象資料** 開架資料716冊  
**年代別貸出構成**

0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上
18	69	85	247	366	343	355	238	4	1	0

(団体貸出23件含まず)

**総貸出数** 1726回 (団体貸出(←相互貸借など)23件含まず)  
**1回以上貸出された資料** 516冊  
**貸出回数0回の資料** 200冊

(がん以外の闘病記については、2013年8月以降闘病記文庫へ追加)

19

## 県立多治見病院との連携(1)

互いの運営委員会に参加

県立多治見病院図書室司書が参加

病院職員と直接対話ができる相互理解を深めるよい機会

多治見市図書館運営委員会

↑↓

患者図書室運営委員会

市民から構成される運営委員の一員として地域の声を知るためのよい機会

多治見市図書館長、医療棚担当司書が参加

20

## 県立多治見病院との連携(2)

互いの施設に案内を設置して  
利用者への周知を心掛けている

- ・県立多治見病院患者図書室  
 「ぬくた～らいぶらり」(多治見の方言「ぬくた～あったかい」から命名)  
 県立多治見病院 中・西病棟2F  
 蔵書数 医療書約600冊 点字図書30冊  
 一般書約2500冊 児童書約2500冊  
 インターネット検索機3台設置、司書1名、事務職員1名、ボランティア1名
- ・多治見市図書館  
 医療情報コーナー・闘病記文庫  
 まなびパークたじみ3F(多治見市図書館本館)  
 蔵書数 約800冊(開架700冊 閉架100冊)

21



## 県立多治見病院との連携(3)

- ・催し物の案内や展示
- ・医療や社会福祉に関する情報提供
- ・相談窓口のパンフレットやチラシ

情報を共有して  
各々、設置できる範囲で実践している

県立多治見病院図書室(院内配布資料、医師会や製薬会社発行の冊子)  
 多治見市図書館(市役所、保健センター、出版社発行の冊子)

互いにつながりが薄い機関だったので入手しづらかった

23

情報交換が新しい連携へ

双方で面識のある人たちを紹介し合う

↓

さらなる連携の広がりへ

24

## 連携の広がり

保健センター  
多治見市役所  
製薬会社  
多治見市図書館  
県立多治見病院  
医師会などの団体  
出版社  
医療ウィッグメーカー

冊子やチラシの設置を基に連携が徐々に広がりを始めている

## 他機関との連携(1)

提供頂いた資料を活かす工夫

パンフレットやチラシはそのまま置くのではなく「一言添える」「置く場所を工夫すること」を心がけている

## 他機関との連携(2)

「病気や障がい、グリーフケアについて理解を深めるための本」をテーマに展示を行う  
 「子どもの「からだ」と「こころ」「さまざまな障がい」について理解を深める本のリスト」「まるごとノタンブック」(楷成社より提供頂く)と一緒に置く

## 他機関との連携(3)

県立多治見病院主催、市民公開講座「患者に寄り添う緩和ケア」に併せて、講師・柏木哲夫氏の著作所蔵本の展示を行う  
 「脱毛ケアマニュアル」「一緒に考えよう円形脱毛症のこと」「Masse!」(スヴェンソン社より提供頂く)  
 がん相談センター、全国のがん診療連携拠点病院、岐阜県のがんサポート情報の冊子(県立多治見病院より提供頂く)も併せて置く

初めから連携が出来たわけではない

## 多治見市民病院との連携の失敗

まだ図書館と市民病院が市の直営だった頃の話  
選書の協力を仰いだことがある

しかし、長くは続かなかった

図書館側の一方的な「お願い」だった  
 病院側にとっては、負担でしかなかった  
 当時の多治見市民病院図書室には、司書が常駐していなかった  
 新病院建設に伴い、指定管理者制度が病院側にも導入され、つながりがなくなってしまった

## 連携を考える

相手の立場を考え、尊重する  
相手を理解するための努力をする  
無理は言わない  
互いにメリットになる方向性を考える  
連絡はこまめに取り合う  
進むべき目標を相互で理解し合う

人と人のつながりが一番大切

31

連携とは  
信頼関係を築き  
協力し合うこと

32

## 目標とする医療情報サービス

- 利用者が求める情報にたどり着ける棚づくり
- 求める情報に最適な資料の提供
- よそと比べない、地域に根差したサービス
- ただし、参考になることはどんどん取り入れる柔軟な姿勢
- 一時的でない、永く継続できるサービス
- 当事者だけでなく、周囲にも、医療や健康に理解を深めてもらうきっかけをつくる

33

## これからの図書館は

資料の提供や学びの機関として  
存在するだけでなく

医療、健康、福祉、社会生活などにおいて  
他機関と連携し、情報を共有し、提供し

34

地域住民が健康で元気な  
まちづくりを目指すための  
情報のハブ機関としての  
役割を果たすべき

「人が元気、まちが元気、多治見！」

35

## 今後、やりたいこと

- 増加してきた闘病記文庫の管理(閉架移動など)
- 疾病名の管理(疾病名の変更、統一などの問題)
- 闘病記文庫の資料を使った展示(障がいについても)
- 医療従事者(まずは県病院職員)が学ぶための資料提供(哲学・思想・倫理学など多岐に渡る分野のもの)
- がんサロンに定期的に参加したい(病院ボランティアとしても関わっていききたい)
- 行政や多治見市内の病院とも、もっと連携を進めたい
- 「いのちの授業」に関わる講座を開催したい
- 全国の図書館・図書室の闘病記文庫とつながりたい

36

## 今後の課題

### 永続的な活動

担当者が変われば事業も終わるのではなく  
継続的なサービスを続けていくことが大切

対策としては  
チームを作る←人数的に無理が生じることも  
職員みんなで共有することを心がける

37

## さいごに

「国や行政機関が何かをやってくれるだろう」という待つ姿勢を変えて、自分たちが動くこと

どんな小さなことでも社会に貢献できる

### 受け身の姿勢から→働きかけの姿勢へ

そのために  
時には、外へ働きかけるアクティブな司書となる必要もある

38

## ひとことカード

まなびパークはじめを隠れ地よい空間にするために  
あなたの『ひとこと』をお寄せしています。  
しょうがいのある子供を育てています。  
図書館にはしょうがいのコーナー  
があるので、世間の人に理解が  
どんどんひろがっていくことを  
のぞみます。ありがとうございます。



39

## 多治見市図書館と県立多治見病院患者図書室へようこそ！

多治見市図書館 (本館・子ども情報センター・笠原分館)

岐阜県多治見市豊岡町1丁目55番地 (JR多治見駅より徒歩5分)

まなびパークたじみ内2F・3F (事務所4F) 図病記文庫は3Fにあります

休館日 (毎週月曜、第3木曜日、年末年始) 平日10～20時、土日祝10～18時開館

多治見市図書館HP

<http://www.lib.tajimi.gifu.jp/>

多治見市図書館FB

<https://www.facebook.com/tajimilib>

県立多治見病院 患者図書室「めくた～らいぶらり」

岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地 (JR多治見駅よりバスで10分、徒歩20分)

中・西病棟2Fにあります

休室日 (土日祝日、年末年始) 平日9～12時、13～15時開室

貸出は入院患者のみ、ただし見学は自由

県立多治見病院HP

<http://www.tajimi-hospital.jp/>

40

## ご清聴ありがとうございました



ご質問などは下記メールアドレスへ  
お気軽にどうぞ  
toshokan@tajimi-bunka.or.jp



41